

魅力あふれる義務教育学校へ ～その可能性を探る～

「義務教育学校」の可能性を考えるシンポジウム基調講演
令和3年10月16日（土）13:35～15:05 日野町文化センター
「チャンネルひの」ライブ配信

川口有美子（公立鳥取環境大学環境学部准教授）

k-yumiko@kankyo-u.ac.jp

はじめまして

- ・ 公立鳥取環境大学（環境学部教職課程「教育原理」「教育行政学」「教育実習」等担当）に2012年4月着任（公立化・教職課程新設と同時）、今年で10年目。

それまでずっと「北関東」（群馬県→栃木県→茨城県）で暮らしておりました。

- ・ 本学環境学部では、中学校・高等学校教諭一種免許状（理科）が取得可能。現在、全国で約20名の卒業生が公立学校理科教諭として教壇に立っています。

- ・ 日野町には、2017年から毎年1回は来ています（日野高校の魅力化にかかわるシンポジウム参加などで）。

でも、まだ「おしどり」を見ておらず、金持神社にも行けておりません(*´▽`;))

本日のお話

1. 義務教育学校とは何か
 - (1) 定義
 - (2) 全国と鳥取県の設置状況
2. なぜ、義務教育学校がよいのか
 - (1) 制度ができた背景・経緯
 - (2) しくみと特徴：できること
3. 先行事例からみえるもの：効果・メリット
4. 日野学園の魅力づくり・可能性

【ねらい】

できるだけわかりやすくお話をします。

この講演後には、「義務教育学校っていいじゃない！」「再来年にできる日野学園が楽しみ！」「この後もずっと義務教育学校について関心持ち続けたい！」などの気持ちを持っていただけたら幸いです。



1. 義務教育学校とは何か
 - (1) 定義：何のための学校なのか
 - (2) 全国と鳥取県の設置状況
2. なぜ、義務教育学校がよいのか
 - (1) 制度ができた背景・経緯
 - (2) しくみと特徴：できること
3. 先行事例からみえるもの：効果・メリット
4. 日野学園の魅力づくり・可能性

1. 義務教育学校とは何か (1) 定義：何のための学校なのか

■ **学校教育法**という法律に次のような規定があります。どんな教育を施す**目的**の学校なのかがわかります。

第49条の2

義務教育学校は、**心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育**を**基礎的なもの**から**一貫して施す**ことを**目的**とする。

ちなみに、小学校は、「小学校は、**心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育**のうち**基礎的なもの**を施すことを**目的**とする。」（同法第29条）

中学校は、「中学校は、**小学校における教育の基礎の上に、心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育**を施すことを**目的**とする。」（同法第45条）

👉 わかるような、わからないような。もう少し、続く条文をみてみましょう。

第49条の3

義務教育学校における教育は、前条に規定する目的を実現するため、第21条各号に掲げる目標を達成するように行われるものとする。

第21条 義務教育として行われる普通教育は、教育基本法（平成18年法律第120号）第5条第2項に規定する目的を実現するため、次に掲げる目標を達成するように行われるものとする。

義務教育として行われる普通教育は、各個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基礎を培い、また、国家及び社会の形成者として必要とされる基本的な資質を養うことを目的として行われるものとする。

1 学校内外における社会的活動を促進し、自主、自律及び協同の精神、規範意識、公正な判断力並びに公共の精神に基づき主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。

2 学校内外における自然体験活動を促進し、生命及び自然を尊重する精神並びに環境の保全に寄与する態度を養うこと。

3 我が国と郷土の現状と歴史について、正しい理解に導き、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養うとともに、進んで外国の文化の理解を通じて、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。

4 家族と家庭の役割、生活に必要な衣、食、住、情報、産業その他の事項について基礎的な理解と技能を養うこと。

5 読書に親しませ、生活に必要な国語を正しく理解し、使用する基礎的な能力を養うこと。

6 生活に必要な数量的な関係を正しく理解し、処理する基礎的な能力を養うこと。

7 生活にかかわる自然現象について、観察及び実験を通じて、科学的に理解し、処理する基礎的な能力を養うこと。

8 健康、安全で幸福な生活のために必要な習慣を養うとともに、運動を通じて体力を養い、心身の調和的発達を図ること。

9 生活を明るく豊かにする音楽、美術、文芸その他の芸術について基礎的な理解と技能を養うこと。

10 職業についての基礎的な知識と技能、勤労を重んずる態度及び個性に応じて将来の進路を選択する能力を養うこと。

もう一度：第49条の2

義務教育学校は、心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育を基礎的なものから一貫して施すことを目的とする。

☞ 義務教育として行われる普通教育＝先ほどの10個の目標を達成するために行われる。これは、小学校でも中学校でも同じこと。小学校と中学校と違うのは、基礎的なものから一貫して施すこと。

まだよくわかりませんね。あと少し、続く条文をみてみましょう。

第49条の4 義務教育学校の修業年限は、9年とする。

第49条の5 義務教育学校の課程は、これを前期6年の前期課程及び後期3年の後期課程に区分する。

第49条の6 義務教育学校の前期課程における教育は、第49条の2に規定する目的のうち、心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育のうち基礎的なものを施すことを実現するために必要な程度において第21条各号に掲げる目標を達成するよう行われるものとする。

②義務教育学校の後期課程における教育は、第49条の2に規定する目的のうち、前期課程における教育の基礎の上に、心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育を施すことを実現するため、第21条各号に掲げる目標を達成するよう行われるものとする。

 どうも、小学校6年＋中学校3年を一貫して教育を行う学校のようにですね！

(2) 全国と鳥取県の設置状況

令和3年度学校基本調査（速報値）

全国 = 39 都道府県 151 校

北海道 14（+1分校）／岩手 1／
宮城 2／秋田 1／山形 3／福島 6／
茨城 12／栃木 3／群馬 1／埼玉 1
／千葉 3／東京 8／神奈川 3／新潟
1／富山 3／石川 3／福井 1／長野
4／岐阜 3／静岡 1／愛知 2／三重
1／滋賀 2／京都 10／大阪 7／兵
庫 7／奈良 4／和歌山 1／鳥取 4／
島根 3／広島 5／高知 2／福岡 5／
佐賀 6／長崎 2／熊本 2／大分 2／
宮崎 2／鹿児島 9

- ・ 58, 568 人の子どもたち
 - ・ 5, 382 人の先生方
 - ・ 726 人の職員の方
- が義務教育学校で生活をしています。

■鳥取県には、現在、鳥取市に4校の義務教育学校があります。

学校名 (施設形態)	学級数	全校児童生徒数 () 1学級あたり平均人数：全校児童生徒数を通常学級数で除す	開校年度	統合校
鳥取市立湖南学園 (施設一体型)	9学級＋3特別支援学級	147名 (16名)	2018 (平成30)	湖南学園小学校と湖南学園中学校の統合 (小中一貫校より移行)
鳥取市立福部未来学園 (施設一体型)	9学級＋4特別支援学級	205名 (22名)	2018 (平成30)	福部未来学園小学校と福部未来学園中学校の統合 (小中一貫校より移行)
鳥取市立鹿野学園 (施設分離型)	10学級＋2特別支援学級	130名 (13名)	2018 (平成30)	鹿野小学校と鹿野中学校の統合
鳥取市立江山学園 (施設一体型)	9学級＋5特別支援学級	211名 (23名)	2020 (令和2)	神戸小学校と美和小学校と江山中学校の統合

1. 義務教育学校とは何か
 - (1) 定義：何のための学校なのか
 - (2) 全国と鳥取県の設置状況
2. なぜ、義務教育学校がよいのか
 - (1) 制度ができた背景・経緯
 - (2) しくみと特徴：できること
3. 先行事例からみえるもの：効果・メリット
4. 日野学園の魅力づくり・可能性

2. なぜ、義務教育学校がよいのか（1）制度ができた背景・経緯

参照：文部科学省「小中一貫した教育課程の編成・実施に関する手引」平成28年12月

■ 2006（平成18）年に**教育基本法**が1947（昭和22）年の制定以来、初めて改正され

第5条第2項に「義務教育として行われる普通教育は、各個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基礎を培い、また、国家及び社会の形成者として必要とされる基本的な資質を養うことを目的として行われるものとする。」という**義務教育の「目的」**が定められた。

■ 2007（平成19）年の**学校教育法**の改正において、小・中学校共通の目標として、**義務教育の「目標」**規定が新設（第21条）された＝**あの10個**

👉 法令上でも「義務教育」というものが強く意識されるようになった。

■ 発達の早期化：小学校 5・6 年生＝思春期到来

■ 「中 1 ギャップ」「小中ギャップ」への対応に有効性

「中 1 ギャップ」：学校不適応や不登校、いじめ、暴力行為の件数が**小学校 6 年生から中学校 1 年生になったときに大幅に増える。**

また、学習面においても「授業の理解度」「学校の楽しさ」「教科や活動の時間の好き嫌い」について、**中学生になると肯定的回答をする生徒の割合が大きく下がる**傾向がある。

👉 **単なる小学校 6 年生と中学校 1 年生の問題としてそれだけに終わることなく、義務教育 9 年間全体での取組を充実させることが重要＝「小中ギャップ」。**

そんなに小学校と中学校は違うものなのでしょうか？

- ① 指導体制の違い（小学校：学級担任制／中学校：教科担任制）
- ② 指導方法の違い（小学校：小学生の発達段階を踏まえた日常生活に根ざした比較的きめ細かい指導／中学校：中学生の発達段階を踏まえた比較的抽象度の高い内容を含めた指導）
- ③ 家庭学習の違い（小学校：宿題の教科間の調整がなされやすい／中学校：宿題の教科間での調整がなされないことが多い、部活動その他で時間に追われる、進路選択を念頭に置いたストレスが高まる）

- ④ 評価方法の違い（小学校：定期試験は実施されない／中学校：定期試験が実施され、小学校よりもテストに向けた計画的な学習が必要となる）
- ⑤ 生徒指導の手法の違い（中学校では思春期を迎える生徒を指導することもあり、小学校と比較して規則に基づいたより厳しい生徒指導がなされる傾向）
- ⑥ 部活動の有無（中学校から部活動が始まり、放課後や休日の活動を行う機会も増える、先輩・後輩の上下関係が人間関係に占める割合が高まる場合がある）

■小中一貫教育については、「研究開発学校」の仕組みの活用などを通じて、自治体や学校現場での取組が10数年以上にわたって蓄積され、顕著な成果が明らかになってきた→一方、現行制度の範囲内で成果を蓄積してきた市町村からは、**小学校と中学校が別々の学校制度として設計されていることによる様々な限界を超えて、取組を一層高度化させる等の観点から、正式な学校制度として法制化すべきとの要望が寄せられていた。**

■平成27年6月の通常国会で、**9年間の義務教育を一貫して行う新たな学校の種類である「義務教育学校」の設置を可能とする改正学校教育法が成立し、関係政省令、告示と合わせて平成28年4月1日に施行された。**

■小学校と中学校が別々の組織として設置されていたことに起因していた様々な実施上の課題が解消され、教育主体・教育活動・学校マネジメントの一貫性を確保した取組が容易になるなど、**全ての教職員が義務教育9年間に責任を持って教育活動を行う小中一貫教育の取組を継続的・安定的に実施できる制度的基盤**が整備されたことになった。

→長年、小中一貫教育を行ってきた小学校と中学校が義務教育学校に移行するパターンと、学校の小規模化に伴う再編・統合に合わせて義務教育学校を開校するパターンとが見られます。

(2) しくみと特徴：できること

参照：文部科学省「小中一貫した教育課程の編成・実施に関する手引」平成28年12月

小中連携、小中一貫、小中一貫教育制度の関係

小中連携教育

小・中学校段階の教員が互いに情報交換や交流を行うことを通じて、小学校教育から中学校教育への円滑な接続を目指す様々な教育

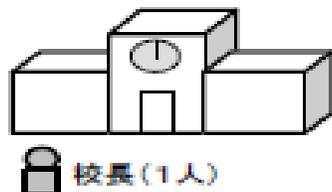
小中一貫教育

小中連携教育のうち、小・中学校段階の教員が目指す子供像を共有し、9年間を通じた教育課程を編成し、系統的な教育を目指す教育

①義務教育学校

・新たな学校種(一つの学校)
⇒一人の校長、
一つの教職員組織

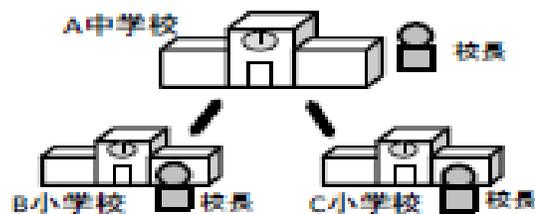
修業年限：9年
(前期課程6年+後期課程3年)



小中一貫型小学校・中学校

・組織上独立した小学校及び中学校が一貫した教育を施す形態
⇒それぞれの学校に校長、教職員組織

②併設型小学校・中学校 (同一の設置者)



※一貫教育にふさわしい運営体制の整備が要件
例・総合調整を担う校長を定める
・学校運営協議会の合同設置
・校長室を併任

③連携型小学校・中学校 (異なる設置者)



※併設型小・中学校を参考に適切な運営体制を整備すること

※①②③いずれも施設の形態は問わない。

★学校名に「義務教育学校」と付けなくてもOKです。

→日野町立日野学園

→土浦市立新治学園義務教育学校

→京都市立大原小中学校（愛称：京都大原学院）

→松江市立義務教育学校玉湯学園

比較的、「〇〇学園」とするケースが多いようです。どうしてでしょう??

■ 「学園」と付されるとき

「〇〇学園」という名称は、以前より私立学校を中心にしばしばみられ、私たちにもなじみ深いものである。辞書で「学園」とは、「学校の異称。下級から上級までの幾つかの学校を含む組織をいう場合が多い」（『広辞苑第七版』岩波書店、2018年、518頁）と定義されている。確かに、私立学校で複数の学校種を設置・運営している場合、「学園」と称している学校法人名や学校名は多い。

2000年代に入ってから、公立小中学校で小中一貫教育が展開されるようになり、例えば、東京都品川区では、区立第二日野小学校と同日野中学校を母体とした「日野学園」の開校を皮切りに、2006（平成18）年度より小中一貫教育の全区展開を始めた。広島県呉市でも、2007（平成19）年度に、市立五番町小学校と同二河小学校が統合して呉中央小学校の開設とともに、呉中央中学校へと校名を変更した同二河中学校と小中一貫教育校「呉中央学園」を開校している。学校としては小学校と中学校は別々、つまり、それぞれの学校に校長と教職員組織が置かれていても、「〇〇学園」と称されることが多くみられるようになった（「××市立〇〇学園（□□）小学校」のように）。

→正式校名に「学園」と付すか、愛称として「学園」と付すか、どちらもある。

（川口有美子「「チーム学校」から「チーム学園」へ—2校以上の学校と「チーム」になる意味—」日本教育事務学会研究推進委員会編『チーム学校の発展方策と地域ユニット化への戦略』学事出版、126-138頁、2018年）

文部科学省が出した「通知」より

（「小中一貫教育制度の導入に係る学校教育法等の一部を改正する法律について（通知）」平成27年7月30日）

* 義務教育学校は、**小学校・中学校の学習指導要領を準用すること**としており、**学習指導要領に示された内容項目を網羅して行われること**になるため、**小学校・中学校と異なる内容・水準の教育を施す学校ではない**こと。

* 義務教育学校は、**9年の課程を前期6年、後期3年に区分すること**としているが、義務教育学校においては、**1年生から9年生までの児童生徒が一つの学校に通うという特質を生かして、9年間の教育課程において「4-3-2」や「5-4」などの柔軟な学年段階の区切りを設定することも可能**であること。

* この場合の「**学年段階の区切り**」とは、**前期課程、後期課程の目標を達成するための課程の変更を意味するものではなく、カリキュラム編成上の工夫や指導上の重点を設けるための便宜的な区切りを設定することを想定**していること。

*従来であれば中学校段階の教育の特徴とされてきた教科担任制や定期考査、生徒会活動、校則に基づく生徒指導、制服・部活動等を小学校高学年段階から導入して、この学年を区切りとする事などの工夫が考えられること。

*義務教育学校の課程は、前期6年、後期3年に区分することとしているが、組織としては一体であり、義務教育学校の教職員は一体的に教育活動に取り組むこと👉**教員による相互乗り入れも可能。**

→要は、9年間という期間をどのように区切ったり、区切るにあたりどういった教育活動・指導を取り入れていくのかは、個々の義務教育学校で考えていいし、考えなくてはいけないということ。

→従来の「小学校文化」「中学校文化」を崩していいし、中学校入学による「リセット」がない。

→教科指導の充実・教員の実践交流拡大。

1. 義務教育学校とは何か
 - (1) 定義：何のための学校なのか
 - (2) 全国と鳥取県の設置状況
2. なぜ、義務教育学校がよいのか
 - (1) 制度ができた背景・経緯
 - (2) しくみと特徴：できること
3. 先行事例からみえるもの：効果・メリット
4. 日野学園の魅力づくり・可能性

3. 先行事例からみえるもの：効果・メリット

◎そもそも、小1～中3が一つの学校で学校生活を送ることとは？



<https://www.acillust.com/main/detail.php?id=390917&word=%E5%B0%8F%E5%AD%A6%E7%94%9F>



<https://www.illustr-box.jp/sozai/136378/>

例えば・・・岐阜県の白川村立白川郷学園

- 平成29年度義務教育学校開校（平成23年度より小中一貫教育）
- 4・2・3制
- 前期課程と後期課程の校舎が隣接で別棟
- 全児童生徒数 114名（令和2年度）

* 1年生から9年生までの学校生活が連続し、生活文化が共有できる学校には大きな特徴とともに、強みがある。その一つが「いつでも自らの9年先を描き、いつでも9年前を振り返ることができる」環境にある。これは、同時に「上級生に常に憧れをもちながら、9年間をかけてリーダー性や自治能力（責任感）を磨き上げていくことができる」ことをも意味している。



<http://school.shirakawa-go.org/index.html>

* 例えば、通常の「6・3制」の中では、小学校の6年生は、最高学年である。学校リーダーとしての姿勢、委員会等での企画・立案など、全校のリーダーとして活動することを要求される。しかし、本校の6年生は前期課程のリーダーとして活動しつつも、全校リーダーの9年生の姿を常に見ることができる。全校のリーダーとしての活動は9年生に任せながら、自分たちは前期課程への伝達者としての役割や9年生のフォロワーとしての役割を果たしていく。

* 各学年の取組に対する多学年のサポートや協力にも、自分たちの立ち位置を自覚できるような機会が多くあり、自発的自治的な活動の有効・・・

* 水川和彦・柘植良雄・高木良太「義務教育学校における9年間の成長を見据えた児童生徒会活動の展開—児童生徒のあこがれと責任をしなやかに積み上げる指導を通して—」『岐阜聖徳学園大学教育実践科学研究センター紀要』19、2020年、33-40頁。

新設教科「拓」実践へ

地域住民と教員話し合い 鳥取市六反田の湖南学園

鳥取市六反田の湖南学園は、本年度新設した独自教科「拓」の授業について、地域住民と構想を共有し話し合う会を同学園で開いた。学校運営協議会のメンバーや学校ボランティアなどの住民、教職員の約60人が参加し、各学年の授業の実践に向け意見を交わした。

同協議会の研修会として開催。参加者は学年の担任



授業の具体的な内容や地域でできる支援について話し合う参加者

令和2年7月14日(火)付掲載
(日本海新聞)



地域活性化アイデア発表

湖南学園9年生 住民から助言も

鳥取市六反田の義務教育学校湖南学園で27日、9年生14人が地域活性化のアイデアを考え、地域住民らに発表した。温泉街の案内看板の復活など発表されたア

イデアは生徒らが実現に向け取り組む予定で、地域住民から助言が送られた。生徒らは「撤去された吉

教諭から授業の目標を聞いた上で、具体的な内容や地域で支援できることを意見交換した。
米作りに取り組む5年生の班は、地域住民が「先生」となって指南することを提

案。地区の自然や温泉について学ぶ3年生の班は「温泉地域に伝わる踊りを知り、意味を考えながら新しい踊りを表現してはどうか」などの意見があった。
同協議会の北山増己副会長は「地域を元気に、子どもたちの心を豊かに、心を密にしてやっていきたい」と話した。(渡辺暁子)

同級生や地域住民らの前で、アイデアを発表する生徒(右) 27日、鳥取市六反田の湖南学園

岡温泉の案内看板を自作し、復活させる」「温泉街にある秋葉山で星空観察会を開く」といった案を、必要な経費や想定される課題とともに説明。地域住民らは「設置後の管理をどうするか」「季節ごとに開催し、星空の変化を楽しんでもらうのは」などと助言した。
雁長ののかさん(14)は「自分で思いつかなかったことを指摘してもらえたので、実現に向けてよく考えたい」と話し、湖南地区自治会の森本孝行会長(75)は「子どもたちが地区のことに関心を持ってってくれてうれしい」と喜んだ。

同校が義務教育学校制度を活用し、本年度から開始した独自教科「拓」の一環。地域の課題解決に取り組み、地元への愛着や、社会で行動する力を養う。

(佐々木駿)

令和2年6月28日(日)付掲載
(日本海新聞)

湖南学園 9年生「拓」湖南まちづくり研究企画

「拓」の集大成！！
ぜひお越しください！

こなんギョーツとマーケット

日時 令和3年10月9日(土) 11時～14時

場所 吉岡温泉会館一ノ湯(鳥取市吉岡温泉町666)



莓の雫

- ・値段 1個 ¥450
- ・限定 120個
- ・【お一人様3個限り】
- ・11時～無くなり次第終了
13時～ //



チョコっつしょうがラスク

- ・値段 1個 ¥100
- ・100個程度
- ・【お一人様2個限り】
- ・11時～無くなり次第終了
13時～ //



ギョーツとバーガー
吉岡卒バーガー

- ・値段 ¥800
- ・限定 70個
- ・【お一人様2個限り】
- ・11時～無くなり次第終了



木の食器

- ・値段 ¥500～
- ・限定 27個
- ・11時～無くなり次第終了



稲村さんの野菜

- ・値段 ¥100～
- ・葉物、イモ類、星空米等
全部で8種類程度
- ・11時～無くなり次第終了



ペットボトルアートの展示

- ・11時～終了時刻まで

- ・マイバックをご持参ください
- ・なるべくお釣りのいらぬよう小銭をご用意ください
- ・全て税込みの値段です
- ・感染症対策へのご協力をお願いします

- 協力して下さる方々
- ・吉岡温泉会館一ノ湯 ・パーラー林湯
 - ・cafe ルウ ・天然酵母パン実業
 - ・銘木工房ゆら木 ・野菜農家の稲村さん

鳥取 NEWS WEB

中学生が開発した商品を販売する催し 鳥取市

10月10日 07時06分



中学生が地域の飲食店や農家などと協力して開発した商品を販売する催しが、9日に鳥取市で開かれました。

この催しは、小中一貫校の鳥取市立湖南学園が地域の魅力を学んでもらおうと行ったもので、9日は中学3年生にあたる9年生の生徒

16人が、温泉施設の一角を借りて商品の販売会を行いました。販売された商品は、生徒が飲食店や農家などと協力して開発したもので、このうちケーキのタルトは地域の観光農園で栽培されたイチゴがたっぷりとのせられています。

また、ハンバーガーは、「鳥取和牛」のハンバーグを天然酵母を使ったパンで挟み、ジューシーでボリュームあるものになっています。

このほか生徒がいっしょに作った木の食器や野菜なども販売され、訪れた人たちがお気に入りの商品を買って求めています。

運営責任者を務めた生徒の松下竜士さんは「多くの食材があり、地域の魅力を改めて実感しました。将来の職業選びに今回の体験を生かしたいです」と話していました。

でも、大変な面もあります。

例えば、体育的行事などでは、

＊「上級生にまかせきりにならないように、下級生にも『我が事』の精神で向かわせる工夫が必要である」、「大人数になるため、練習場所の確保や日程の調整が難しい」、「教員側も小学校のこと、中学校のこと、縦割りのことなど多くの配慮が必要になる」及び「今まで6年生がしていた役割がなくなり、6年生の活躍の場面がなくなってしまった」という課題も指摘されて・・・

植島直生・関耕二「鳥取県における小中一貫教育校でのスポーツ教育の現状と課題」『地域学論集：鳥取大学地域学部紀要』16（1）77-89頁、2019年。

		令和3年度 特設教科「拓」 単元構想(案) ~夢を叶える通り道~										R3. 4月現在 鳥取市立湖南学園	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
高等	高等ブロック研修												
9年	75 (67)	湖南の未来を拓く ~実践編~ (42) 自分の未来を拓く (25) 自分たちが取り組むべきことを企画しよう (10) ① 調査的問いを複数設定し、研究員を委ねて ② 地域の方を交えた実地内容の検討 ③ 企画書(実施計画・設計図・事業案)の作成		実践! 湖南の未来を拓こう! ~湖南まちづくり実践~ (32) ① 企画の実現(財源調入手配等) ② 企画イベントの実行 ③ 地域の声をアンケート等で聞き、振り返る ④ 実施内容・結果の活動報告のため ⑤ プレゼンによる発表		「拓」の学びを表現しよう(8・9年合同) (15) ① 表現したい内容を考える ② 情報収集 ③ 台本制作・練習 ④ 劇やスピーチで表現する		自分の未来を拓く (10) ① 目標に向けて自分を見つける ② 地域情報を通して、自分のよさを知る ③ 調査ブロック終了宣言で伝える					
8年	75 (67)	湖南の未来を拓く ~地域に挑戦しよう~ (30) 自分の未来に近づこう (37) 湖南地区の課題を考えよう (4) ① 鳥取市・湖南地域の現状を知る ② 地域の観光地や企業・団体の実地調査・資料を調べる ③ 調査結果の整理・整理について考える		課題解決に向けて 地域に挑戦しよう (14) ① 個人のテーマ設定 ② 課題解決に向けた計画 ③ 個人での調査・検証方法の立案 ④ 計画を分かりやすくプレゼンにまとめる ⑤ 個人授業の実施		湖南の未来を考え 地域に挑戦しよう! (12) ① グループでの実地内容の検討 ② 地域の声を聞く ③ 実践に向けて		修学旅行に向けて~先輩に学ぶ~(12) ① 調査地域の先輩へのインタビュー内容を考える ② プレゼンにまとめる ③ インタビュー~湖南地域域活動を行う ④ 発表する					
中等	中等ブロック研修												
7年	55 (47)	働くことを考えよう ~職場体験活動の期間~ (18) 自分の未来を拓く (29) 中継リポーターとして 研習! 自分を拓こう! (10) ① 研習リポーターの役割を知る ② 企画を立てる ③ 研習リポーターの役割を担い、準備・実施を行う ④ 研習リポーターの役割を担い、準備・実施を行う		働くことを考えよう ~職場体験活動の期間~ (18) ① 働くことの意味や意義について考える ② 働くことの意味や意義について考える ③ 働くことの意味や意義について考える		高等ブロックへ! 習熟の事や目標について考えよう (19) ① 習熟の事、やりたい自分について考える ② 自己分析表、計画を立てる ③ ゲストリポーター(先輩)に話を聞く ④ 調査ブロック終了宣言で伝える							
6年	75 (67)	湖南を盛り上げるためにできることを考えよう (35) 夢の設計図をかこう (32) いろいろな仕事に挑戦しよう (4) ① 計画を立てよう ② 地域の方を交えて実施しよう ③ インタビュー		地域を盛り上げるためにできることを考えよう (25) ① 地域の方を交えて実施しよう ② 地域の方を交えて実施しよう ③ 地域の方を交えて実施しよう		いろいろな仕事に挑戦しよう (12) ① 地域の人に仕事を依頼しよう ② 依頼したことを話し合おう ③ 依頼したことを話し合おう		未来の自分を想像しよう (16) ① 自分の夢や希望、やりたい仕事について考えよう ② 地域を盛り上げる仕事について考えよう ③ 地域を盛り上げる仕事について考えよう					
5年	75 (67)	夢に向かって (22) 自分のよさを発見しよう (10) ① 自分が得意なことを考える ② 自分が得意なことを考える ③ 自分が得意なことを考える		働くことを考えよう (25) ① 働くことの意味や意義について考える ② 働くことの意味や意義について考える ③ 働くことの意味や意義について考える		未来の自分を想像しよう (16) ① 自分の夢や希望、やりたい仕事について考えよう ② 地域を盛り上げる仕事について考えよう ③ 地域を盛り上げる仕事について考えよう							
初等	初等ブロック研修												
4年	75 (67)	みんなにやさしい町 湖南 ~湖南の現状を考えよう~ (32) 自分の成長を見つめよう (35) 中継リポーターとして 研習! 自分を拓こう! (5・10) ① 研習リポーターの役割を知る ② 企画を立てる ③ 研習リポーターの役割を担い、準備・実施を行う ④ 研習リポーターの役割を担い、準備・実施を行う		わたしの見つけた やさしい町 湖南 (8) ① 自分が得意なことを考える ② 自分が得意なことを考える ③ 自分が得意なことを考える		みんなにやさしい町に向けて考えよう (10) ① もっと調べたいことを考える ② 地域について調べよう(点検・半検・点検) ③ リポートについて体験しよう(準備・実施)		福祉施設で実践しよう (14) ① 福祉施設で自分たちができることを考えよう ② 福祉施設で自分たちができることを考えよう ③ 福祉施設で自分たちができることを考えよう		中等ブロックへ! 夢に向かって 今できることを考えよう(20) ① 夢や希望、やりたい仕事について考えよう ② 地域を盛り上げる仕事について考えよう ③ 地域を盛り上げる仕事について考えよう			
3年	75 (67)	すてき発見! 湖南の自然 ~自分の生活とのかかわりについて考えよう~ (58) 初等リポーターをめざして (9) 湖南の自然を探る課題を 見つけよう (9) ① 課題を設定しよう ② 課題を設定しよう		湖南のすてきを発見しよう (1) 湖南の自然 (12) ① 課題を設定しよう ② 課題を設定しよう		湖南のすてきを発見しよう (2) 湖南の自然 (13) ① 課題を設定しよう ② 課題を設定しよう		湖南のすてきを発見しよう (3) 湖南の自然 (13) ① 課題を設定しよう ② 課題を設定しよう		初等リポーターに向けて できることを考えよう(9) ① 夢や希望、やりたい仕事について考えよう ② 地域を盛り上げる仕事について考えよう			
2年	40 (32)	どきどきわくわくまちたんけん ~湖南のじまんやよさをみつめよう~ (27) 忙しい人に 思いをつたえよう (5) どきどき! まちたんけんに行こう (10) ① 町まわりの調査しよう ② 町まわりの調査しよう		あじあけ! じまんたんけんしよう (2) もっとなかよし! まちのすてきをみつめよう (15) (一/高/ハローワーク・福祉施設・公民館・住居系) ① 町まわりの調査しよう ② 町まわりの調査しよう		みんなにやさしい町に向けて考えよう (10) ① もっと調べたいことを考える ② 地域について調べよう(点検・半検・点検) ③ リポートについて体験しよう(準備・実施)		福祉施設で実践しよう (14) ① 福祉施設で自分たちができることを考えよう ② 福祉施設で自分たちができることを考えよう ③ 福祉施設で自分たちができることを考えよう		中等ブロックへ! 夢に向かって 今できることを考えよう(20) ① 夢や希望、やりたい仕事について考えよう ② 地域を盛り上げる仕事について考えよう ③ 地域を盛り上げる仕事について考えよう			
1年	39 (31)	たいすき目 こんなん (15) かんがえきもちをつたえよう (16) なつやあじあけ! おもしろくおぼえて (10) ① なつやあじあけ! おもしろくおぼえて (10) ② なつやあじあけ! おもしろくおぼえて (10)		あじあけ! じまんたんけんしよう (2) もっとなかよし! まちのすてきをみつめよう (15) (一/高/ハローワーク・福祉施設・公民館・住居系) ① 町まわりの調査しよう ② 町まわりの調査しよう		みんなにやさしい町に向けて考えよう (10) ① もっと調べたいことを考える ② 地域について調べよう(点検・半検・点検) ③ リポートについて体験しよう(準備・実施)		福祉施設で実践しよう (14) ① 福祉施設で自分たちができることを考えよう ② 福祉施設で自分たちができることを考えよう ③ 福祉施設で自分たちができることを考えよう		中等ブロックへ! 夢に向かって 今できることを考えよう(20) ① 夢や希望、やりたい仕事について考えよう ② 地域を盛り上げる仕事について考えよう ③ 地域を盛り上げる仕事について考えよう			

■ 9年間の長いスパンでもって、各学年で「何をめざして・何をやるのか」を考えるのは、容易なことではありません。先生方は大変です。

- ・ 目的の共有
- ・ 評価をどうするのか

1. 義務教育学校とは何か
 - (1) 定義：何のための学校なのか
 - (2) 全国と鳥取県の設置状況
2. なぜ、義務教育学校がよいのか
 - (1) 制度ができた背景・経緯
 - (2) しくみと特徴：できること
3. 先行事例からみえるもの：効果・メリット
4. 日野学園の魅力づくり・可能性

4. 日野学園の魅力づくり・可能性

ここまでの話より、義務教育学校の魅力やそこでの教育の可能性を感じることはできたでしょうか。

日野学園の特徴

- 町で唯一の町立学校になる。
- 小規模である（約100人の児童生徒）。
- 校舎新設
- すぐ近くに県立日野高校がある。

等々

■町で唯一の町立学校になる。

■小規模である（約100人の児童生徒）。

■校舎新設。

■すぐ近くに県立日野高校がある。

■町のシンボルに！地域活性化の拠点に！地域人材育成の拠点に！

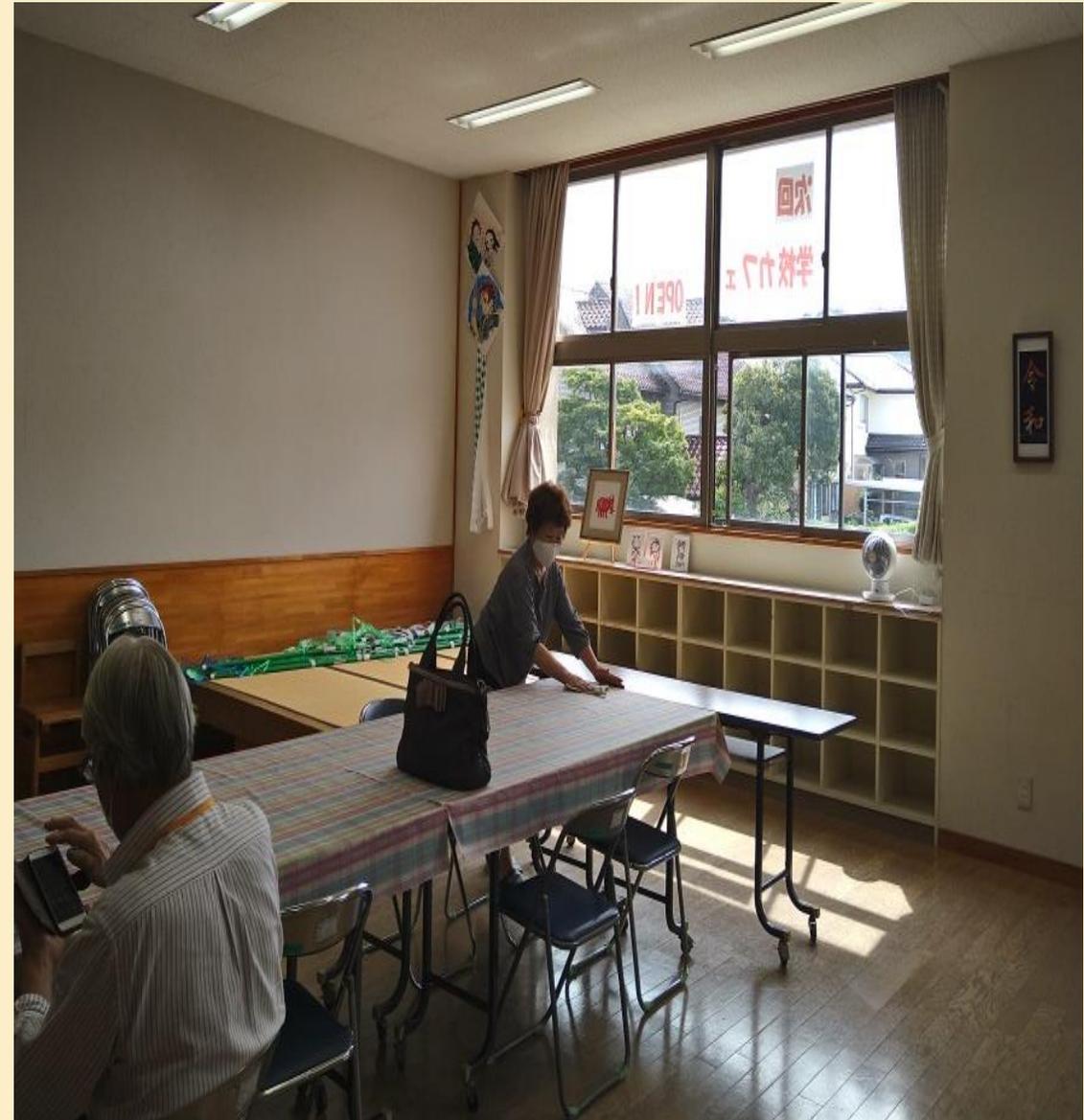
☞地域の方々の学校運営や地域学校協働活動への積極的な参画を。

■現在の根雨小・黒坂小・日野中の各校の規模よりは大きくなりますが、それでも1学年1学級の小規模校です。小規模のデメリットを、ICTの活用も含め、郡内の江府町や日南町の学校と交流するなどして緩和を。

■地域の方々の活動スペースが常設できればいいですね。

■義務教育と高校教育をつなげて、学びを豊かに。

“地域は学校と運命共同体” ～鳥取市立若葉台小学校～



社会教育：個人の成長と地域社会の発展の双方に重要な意義と役割

人づくり

自主的・自発的な学びによる知的
欲求の充足、自己実現・成長

つながりづくり

住民の相互学習を通じ、つながり
意識や住民同士の絆の強化

学びと活動の好循環

地域づくり

地域に対する愛着や帰属意識、地域の
将来像を考え取り組む意欲の喚起
住民の主体的参画による地域課題解決

最後に・・・ 「オール日野」になりましょう！

町民のみなさんへ

すでに、日野町教育に多くの方が熱心にかかわっていらっしゃると思われ
ます。でも、もっとかかわる人たちを増やしていきましょう。

そのためには、「可能性」（期待できる効果）とやってみた「成果」を人に伝
えていきましょう。

人は「手ごたえ」がわかるとその気になり、ポジティブになれます！
「人が人を呼ぶ！」のです。

地域づくり・学校づくりにかかわること

とても尊いこと
その姿は、とても美しい